

5 ソルガム

(1) 国際的なソルガム需給の概要

○2008/09年度のソルガム需給（予測）のポイント

ソルガムの供給面では、世界第1位の生産・輸出国である米国等の減少から、世界の生産量も減少が見込まれている。

需要面では、EU等で昨年度に急増した飼料用需要が小麦の生産回復により減少することが見込まれるため、世界の消費量は減少が見込まれている。

期末在庫量については、消費量が生産量を上回ることから減少するものの、消費量も減少することから、期末在庫率も前年並みとなると見込まれる。

【生産量】

生産量は、アルゼンチン等で増加するものの、世界第1位の生産・輸出国である米国等の減少から、世界全体では前年度より1.9百万トン減少（▲3.0%）し、62.0百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.1百万トン上方修正されており、国別には米国が上方修正された。

【消費量】

消費量は、米国等で増加するものの、EU等で昨年度に急増した飼料用需要が小麦の生産回復により減少することが見込まれるため、世界全体では前年度より1.6百万トン減少（▲2.4%）し、62.1百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.1百万トン下方修正されており、国別にはメキシコが下方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量（輸出量）は、前年度より2.7百万トン減少（▲30.6%）し、6.3百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国では貿易量の約7割弱を占める米国で輸出量の減少が見込まれている。一方、輸入国では、EUで飼料用需要の減少から輸入量の減少が、メキシコ等で増加が見込まれている。

なお、前月の予測から改訂は、行われていない。

【期末在庫量】

期末在庫量は、消費量が生産量を上回ることから世界全体では前年度より0.1百万トン減少（▲2.5%）し、4.3百万トンとなる見込みであるものの、消費量も減少することから、期末在庫率は前年度並みの6.9%となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.1百万トン上方修正されており、国別には米国が上方修正された。

表-1 世界のソルガム需給

(単位:百万トン)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	57.0	63.9	62.0	0.1	▲ 3.0
米国	7.1	12.8	10.7	0.1	▲ 16.8
ナイジェリア	10.5	10.0	10.5	-	5.0
インド	7.2	7.7	7.0	-	▲ 9.4
メキシコ	5.8	6.1	6.0	-	▲ 1.6
スーダン	5.2	4.5	4.7	-	4.4
アルゼンチン	3.3	3.5	4.3	-	22.9
エチオピア	3.3	3.2	3.3	-	2.2
消費量	57.3	63.7	62.1	▲ 0.1	▲ 2.4
うち飼料用	22.0	28.8	26.9	▲ 0.1	▲ 6.5
ナイジェリア	10.5	10.0	10.5	-	5.0
メキシコ	8.1	6.9	7.5	▲ 0.1	8.7
インド	7.1	7.7	7.0	-	▲ 9.1
米国	3.9	5.3	6.6	-	23.8
スーダン	5.0	5.2	5.0	-	▲ 4.3
エチオピア	3.1	3.2	3.3	-	2.9
EU-27	1.1	6.1	2.8	-	▲ 54.4
貿易量	5.6	9.0	6.3	-	▲ 30.6
(輸出)					
米国	4.0	6.7	4.1	-	▲ 39.6
アルゼンチン	1.0	1.3	1.4	-	7.7
オーストラリア	0.0	0.3	0.2	-	▲ 33.3
ブラジル	0.2	0.2	0.3	-	33.3
中国	0.1	0.3	0.2	-	▲ 40.0
ナイジェリア	0.1	0.1	0.1	-	0.0
インド	0.0	0.0	0.0	-	177.8
(輸入)					
EU-27	0.7	5.7	2.0	-	▲ 64.9
メキシコ	2.0	0.9	1.5	-	66.7
日本	1.3	1.2	1.4	-	17.4
スーダン	0.3	0.3	0.3	-	0.0
チリ	0.1	0.1	0.2	-	18.1
イスラエル	0.1	0.2	0.1	-	▲ 33.3
ニジェール	0.1	0.1	0.1	-	0.0
期末在庫量	4.1	4.4	4.3	0.1	▲ 2.5
米国	0.8	1.6	1.6	0.1	0.0
スーダン	1.0	0.5	0.5	-	▲ 0.9
エチオピア	0.4	0.4	0.4	-	▲ 5.9
アルゼンチン	0.2	0.1	0.4	-	195.3
メキシコ	0.2	0.3	0.3	-	0.0
ナイジェリア	0.2	0.2	0.2	-	0.0
インド	0.2	0.2	0.2	0.0	▲ 10.8
期末在庫率	7.2%	6.9%	6.9%	0.2	▲ 0.0

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」
「Grain: World Markets and Trade (July 2008)」

(2) ソルガムの主要生産・輸出国等の需給状況

ア 米国

【需給状況】

米国の生産量は、作付け及び単収の減少から前年度より2.1百万トン減少（▲16.8%）し、10.7百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料に用いられるとうもろこしの価格高騰に伴い、ソルガムの飼料用需要の増加が見込まれることから前年度より1.3百万トン増加（23.8%）し、6.6百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の減少とEUの輸入量の減少から前年度より2.6百万トン減少（▲39.6%）し、4.1百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は前年度並みの1.6百万トンとなるものの、期末在庫率は輸出量の減少から14.8%（1.7ポイント増）まで上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、生産量及び期末在庫量がともに0.1百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

米国のソルガムの主要11州の生育進捗状況については、全体の33%が出穂期を迎えており、気温が低く推移したことから、過去5年の平均に比べ5ポイント（前年に比べ12ポイント）ほど進捗が遅れている。ただし、着色率は24%で、過去5年の平均に比べ2ポイント高くなっている。

作柄については、優良が7%と前年度の同時期や最終に比べ低く、優良～普通までの合計でも85%と前年度の最終の91%を下回っている。

西部諸州で乾燥した天候が続いていることが、コロラド、ニューメキシコ、オクラホマ、テキサス州のソルガムの作物に悪影響を与えている。

我が国の輸入先国シェア 1位（2007年数量ベース57.1%）
世界の生産量シェア 1位（2008/09年度17.2%）
輸出量シェア 1位（2008/09年度64.9%）

表-2 米国のソルガム需給（市場年度：9月～翌年8月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	7.1	12.8	10.7	0.1	▲ 16.8
消費量	3.9	5.3	6.6	-	23.8
うち飼料用	2.8	4.4	5.1	-	14.3
輸出量	4.0	6.7	4.1	-	▲ 39.6
輸入量	0.0	0.0	0.0	-	▲ 100.0
期末在庫量	0.8	1.6	1.6	0.1	0.0
期末在庫率	10.3%	13.1%	14.8%	1.2	1.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	2.00	2.75	2.59	0.04	▲ 5.8
単収(t/ha)	3.53	4.66	4.12	▲ 0.02	▲ 11.6

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」、
「Grain: World Markets and Trade (July 2008)」、
「World Agricultural Production (July 2008)」

○ 米国ソルガムの生育進捗状況及び作柄（7月20日現在）

〔生育進捗状況〕

出穂率 33%（平年差：▲5 p、前年差：▲12 p）

着色率 24%（平年差：2 p、前年差：▲6 p）

		単位：%				
		優良	良	普通	不良	極不良
ソルガム	2008/09	7	44	34	11	4
	前年度同時期	14	59	22	4	1
	前年度最終	15	49	27	7	2

注：優良-Excellent、良-Good、普通-Fair、不良-Poor、極不良-Very Poor

〔作柄〕

資料：USDA「Crop Progress」

注：生育進捗状況の（ ）内は前年同時期及び同時期の平年値（過去5年）との比較である。

イ アルゼンチン

【需給状況】

アルゼンチンの生産量は、単収の増加から前年度より0.8百万トン増加（22.9%）し、4.3百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用需要の増加から前年度より0.4百万トン増加（15.2%）し、2.7百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より0.1百万トン増加（7.7%）し、1.4百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度より0.3百万トン増加（195.3%）し、0.4百万トンとなり、期末在庫率も9.3%（5.8ポイント増）と回復する見込みである。

なお、前月の予測から改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

アルゼンチンのソルガムの作付けは、10月頃から始まる。

なお、2007/08年度の収穫率は7月10日現在で97%となっている。

〔我が国の輸入先国シェア2位（2007年数量ベース 31.2%）〕
世界の輸出量シェア 2位（2008/09年度22.3%）

表-3 アルゼンチンのソルガム需給
（市場年度：翌年3月～翌々年2月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	3.3	3.5	4.3 (3.5)	-	22.9
消費量	2.2	2.3	2.7 (2.7)	-	15.2
うち飼料用	2.0	2.1	2.5 (2.4)	-	16.7
輸出量	1.0	1.3	1.4 (0.8)	-	7.7
輸入量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	...
期末在庫量	0.2	0.1	0.4 (0.2)	-	195.3
期末在庫率	7.1%	3.6%	9.3% (4.2%)	-	5.8
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.62	0.80	0.83 (...)	-	3.1
単収(t/ha)	5.32	4.38	5.21 (...)	-	18.9

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」、
「Grain: World Markets and Trade (July 2008)」、
「World Agricultural Production (July 2008)」

ウ 中国

【需給状況】

中国の生産量は、面積の減少が見込まれていることから、前年度より0.1百万トン減少（▲5.3%）し、1.8百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.1百万トン減少（▲5.9%）し、1.6百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より0.1百万トン減少（▲40.0%）し、0.2百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度より5万5千トン増加（100.0%）し、11万トンとなり、期末在庫率も6.3%（3.5ポイント増）と上昇する見込みである。

なお、前月の予測から改訂は行われていない。

【貿易情報】

中国については、増値税の輸出還付を取り消し、輸出税を課している。

〔我が国の輸入先国シェア3位（2007年数量ベース 11.6%）〕
世界の輸出量シェア5位（2008/09年度 2.4%）

表-4 中国のソルガム需給
（市場年度：10月～翌年9月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	2.0	1.9	1.8 (2.0)	-	▲ 5.3
消費量	2.0	1.7	1.6 (...)	-	▲ 5.9
うち飼料用	0.2	0.1	0.1 (...)	-	0.0
輸出量	0.1	0.3	0.2 (0.1)	-	▲ 40.0
輸入量	0.0	0.0	0.0 (...)	-	...
期末在庫量	0.1	0.1	0.1 (...)	-	100.0
期末在庫率	4.5%	2.8%	6.3% (...)	-	3.5
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.57	0.55	0.50 (...)	-	▲ 9.1
単収(t/ha)	3.53	3.45	3.60 (...)	-	4.3

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」、
「Grain: World Markets and Trade (July 2008)」、
「World Agricultural Production (July 2008)」
IGC 「Grain Market Report (26 June 2008)」

エ オーストラリア

【需給状況】

オーストラリアの生産量は、夏の降雨に恵まれ豊作だった前年度より単収の減少が見込まれることから前年度より0.7百万トン減少（▲25.7%）し、2.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用需要の減少から前年度より0.6百万トン減少（▲24.6%）し、1.8百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の減少から前年度より0.1百万トン減少（▲33.3%）し、0.2百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度より5千トン減少（▲12.2%）し、3万6千トンとなり、期末在庫率も1.8%（0.3ポイント増）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、わずかに消費量が上方修正され、期末在庫量が下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

オーストラリアのソルガムの作付けは、9月頃から始まる。

オ インド

【需給状況】

インドの生産量は、面積及び単収の減少が見込まれることから、前年度より0.7百万トン減少（▲9.4%）し、7.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、生産量の減少に伴い、前年度より0.7百万トン減少（▲9.1%）し、7.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度並みの0.2百万トンとなり、期末在庫率も2.9%（0.1ポイント減）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、期末在庫量がわずかに上方修正され、期末在庫率が0.2ポイント上方修正された。

（世界の輸出量シェア 4位（2008/09年度 3.2%））

表-5 オーストラリアのソルガム需給
（市場年度：翌年3月～翌々年2月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(ABARE)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	1.3	2.7	2.0 (1.9)	-	▲ 25.7
消費量	1.2	2.4	1.8 (1.4)	0.0	▲ 24.6
うち飼料用	1.2	2.4	1.8 (1.4)	-	▲ 24.6
輸出量	0.0	0.3	0.2 (0.6)	-	▲ 33.3
輸入量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
期末在庫量	0.0	0.0	0.0 (…)	▲ 0.0	▲ 12.2
期末在庫率	3.4%	1.5%	1.8% (…)	▲ 0.7	0.3
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.61	0.80	0.80 0.76	-	0.0
単収(t/ha)	2.09	3.36	2.50 2.54	-	▲ 25.6

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」
「Grain: World Markets and Trade (July 2008)」
「World Agricultural Production (July 2008)」
ABARE 「AUSTRALIAN CROP REPORT (June 2008)」

（世界の生産量シェア 3位（2008/09年度 11.3%））

表-6 インドのソルガム需給（市場年度：11月～翌年10月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	7.2	7.7	7.0 (7.0)	-	▲ 9.4
消費量	7.1	7.7	7.0 (…)	-	▲ 9.1
うち飼料用	1.2	1.2	1.2 (…)	-	0.0
輸出量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	177.8
輸入量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
期末在庫量	0.2	0.2	0.2 (…)	0.0	▲ 10.8
期末在庫率	2.9%	3.0%	2.9% (…)	0.2	▲ 0.1
(参考)					
収穫面積(百万ha)	8.51	8.40	8.10 (…)	-	▲ 3.6
単収(t/ha)	0.84	0.92	0.86 (…)	-	▲ 6.5

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」
「Grain: World Markets and Trade (July 2008)」
「World Agricultural Production (July 2008)」
IGC 「Grain Market Report (26 June 2008)」